



# 市議会だより

第169号

住みたくなるまち 鳥栖

平成28年8月15日



鳥栖市消防団 夏季訓練での操法披露

7月3日に消防技術の向上と士気の高揚を図るために行われました。

## 6月定例市議会

議会報告会では  
活発な意見交換

一般質問 .. 4~8

- ◆主な事業と予算額 ..... ③
- ◆常任委員会審査報告 ..... ③
- ◆第3回議会報告会 ..... ⑧
- ◆先進地視察報告 ..... ⑩
- ◆議決結果 ..... ⑪
- ◆意見書・陳情・表彰 ..... ⑫
- ◆議会日誌・編集後記 ..... ⑫

# 6月定例会

6月定例会は6月6日から22日まで開かれ、市長提出議案8件、議員提出議案6件の審議のほか16人の議員が一般質問を行いました。

6月定例会では、一般会計補正予算案や専決処分事項、工事請負契約の締結についてなどの議案を審議しました。

補正予算案の中での補助事業については、国庫支出金の内示に伴い、社会保障・税番号制度に係る基幹系情報システム改修経費が計上されました。

また、単独事業としては、熊本地震に伴う被災地支援の経費、コミュニティ事業補助金、放課後等補充学習支援事業、放課後児童クラブ夏季臨時開設事業、鳥栖駅舎建築物調査等事業、学校給食センターの災害復旧経費などが計上されました。

## 補正予算は 原案のとおり可決

補正予算案などの議案は、各常任委員会に付託され、委員による活発な質疑が行われたあと、すべての議案が原案のとおり可決されました。

## 決議2件を全会一致で可決

今定例会では、「国道3号及び国道

34号の整備促進に関する決議」と「市庁舎に関する意見書」の2件の決議を全会一致で可決しました。

## 国道3号及び国道34号の 整備促進に関する決議

本市の主要幹線である国道3号と国道34号について、以下の事項を求めていくものです。

- ・国道3号の整備促進については、鳥栖拡幅及び鳥栖久留米道路事業の早期完了。
- ・事業推進に必要な予算の確保。
- ・鳥栖拡幅事業以北、鳥栖市永吉町から姫方町間の国道34号分岐交差点



交通事故や渋滞発生が懸念される国道3号  
2車線区間の整備計画早期策定等を求める

周辺は、4車線から2車線への減車線区間となっており、交通事故や渋滞発生が懸念されるため、国道34号分岐交差点改良を含めた整備計画の早期策定。

鳥栖拡幅事業以南、鳥栖市酒井西町から福岡県久留米市間については、2車線であり、この区間の早期整備に向けた整備計画の早期策定。

また、国道34号の整備促進については、国道34号（鳥栖く神埼間）のバイパス整備について、整備計画の早期策定と事業実施に向けての関係予算の確保。

## 市庁舎に関する意見書

市長に対し、以下の内容を要望するものです。

平成28年4月に発生した熊本地震において、民家や公共施設の倒壊等により熊本県内は甚大な被害を受けました。また、自治体によっては、災害対策本部が置かれる庁舎が被災し、使用できなくなる状況も発生しています。

現在の鳥栖市の庁舎については、まもなく築50年を迎えようとしてお

ります。また、鳥栖市公共施設等白書によると、「耐震補強が必要な建築物は市庁舎等で、今後、耐震化等の検討を進めていくことが必要となります」と記載されており、国の基準に基づいた対策を早急に立てなければなりません。

市長は、「市庁舎の建て替え時期は、10年以上先になるとの見通しで、仮に大きな地震が起きて市庁舎が使えなくなった場合は、別の公共施設に对应拠点を構える」との見解を述べられています。防災拠点としての市庁舎の果たす役割は大きく、また、来庁される市民の安全を考えると、早急に市庁舎の耐震化や建て替え等を進めていくべきです。



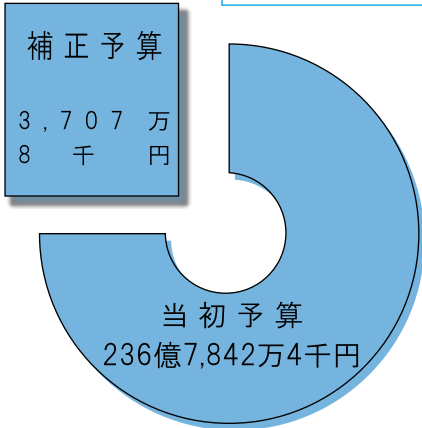
まもなく築50年となる市役所本庁舎  
耐震化や建て替えを進めるよう要望

# 平成28年度 一般会計補正予算

補正額 **3,707万8千円**

予算合計 237億1,550万2千円

【主な歳入】	
国・県支出金	8,246万円
諸収入	350万8千円



## 主な事業と予算額

- 被災地支援事業.....585万7千円  
熊本地震に伴う被災地への職員派遣や市内避難者への支援を行うもの
- 情報システム改修等事業.....665万4千円  
社会保障・税番号制度に係る基幹系情報システムの改修等に要する経費
- コミュニティ事業補助金.....250万円  
京町区の上笠山車台車や法被の作製に対して補助を行うもの
- 消防団装備品等整備事業.....183万8千円  
消防団員の装備品等の充実を図るもの
- 放課後等補充学習支援事業.....97万円  
学力向上のため、中学3年生の希望者に放課後補習を行うもの
- 放課後児童クラブ夏季臨時開設事業.....47万円  
放課後児童クラブの待機児童解消を図るため、利用者が増加する夏季休業期間に、臨時のクラブ1か所を開設するもの
- 鳥栖駅舎建築物調査等事業.....69万6千円  
鳥栖駅周辺まちづくり基本計画に伴い、鳥栖駅舎の調査を行うもの
- 教育施設災害復旧事業.....1,080万円  
熊本地震により被害が生じた学校給食センターの復旧に要する経費

## 常任委員会での予算説明や質疑内容

### 総務文教



**総務課** 熊本地震避難生活世帯の現状と今後の見込み、熊本地震避難生活助成金の財政措置

**教育委員会事務局** 放課後等補充学習支援事業の対象となる生徒、開始時期、内容、拡充、貧困対策との関連等や今後のあり方。放課後児童クラブ夏季臨時開設事業の開設場所、受入対象児童と指導員の確保。学校給食センター災害復旧工事費に関連して、被害の検証のあり方、設計会社や施工業者の、かし、ランチルームの活用状況、給食食材納入業者への食材補償

### 建設経済



**商工振興課** 京町区の上笠山車台車と法被の作製経費の一部の補助をするコミュニティ事業補助金について。コミュニティ助成事業の内容と

採択要件や実績報告の内容

**建設課** 大規模建築物耐震改修事業補助金の繰越額の確定報告

**維持管理課** 橋梁長寿命化事業と排水路整備事業の繰越額の確定報告、水道管理のかしに伴う専決処分事項

### 厚生



**健康増進課** 健康管理システムの内容

**スポーツ振興課** 被服費の予算計上の時期。(仮称)健康スポーツセンター整備事業にあたっては、今後、関係課で検討するよう要望

**国保年金課・税務課** 国民健康保険の都道府県化に向けた今後のスケジュールと累積赤字の処理、都道府県化後の保険税の水準。国民健康保険の財源不足に伴う繰上充用を専決処分とした理由。保険財政共同安定化事業の改正内容。国民健康保険条例の一部改正に関して、専決処分とした理由と法的根拠

# 一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対し、市政全般にわたり、事務の執行状況、将来に対する方針等について問うものです。



今定例会では、16人の議員が一般質問を行いました。ここには、その中から抜粋したものを発言者順に掲載しています。

掲載した内容は、タイトルを含め、各議員本人が要約したものです。

詳しい内容は、インターネットの録画中継でご覧いただけます。ぜひご覧ください。



伊藤克也(新風クラブ)  
庁舎の防災機能  
対応について

**問**

防災拠点として、庁舎耐震化の方向性についての検討は。

**答**

本庁舎は、建築から四十九年が経過し、耐震化の必要性も十分に認識しておりますが、改築に要する財源や時期の問題もありますので、総合的に勘案して具体的な方向性を検討していきたい。

**問**

仮に大規模災害により本市の庁舎が機能不全に陥った場合、庁舎機能のスムーズな移転を行

うための、「BCPいわゆる業務継続計画」策定の必要性についての考えは。

**答**

災害時には防災拠点である庁舎以外が使用できなくなる他に、職員や物資、情報などが制約を受けるものであり一定の業務を行う上でも「BCPいわゆる業務継続計画」の必要性を十分に認識しており、特に重要な6要素である「首長不在時の明確な代行順位」「代替庁舎の特定」「備蓄の確保」「通信手段の確保」「行政データのバックアップ」「非常時優先業務の整理」を整理して、本年度中に策定したい。



森山林(自民クラブ)  
種村副市長に問う

**問**

鳥栖市が九州において役割を果たしていくためには、現状(強み・弱み)を捉えた上で、戦略的な市政運営を行っていく必要があると思うがどうか。

**答**

本市の強みは、九州陸路交通の結節機能を有するという「地の利」を活かした企業や施設の集積と人口が増加し続けていることではないかと思う。片や、弱みは、本市が持つ発展ポテンシャルを十分活か



江副康成(天桜会)  
「リトルつくば」

**問**

私は鳥栖市が「リトルつくば」になれないものかとの思いで、一人つくば市をこの目で見てきました。私が思い描く鳥栖市が目指すべきモデル都市としてのつくば市は、国家的に作られた先端研究機関がまちづくりの核となっているところと、鳥栖市を含む地方自治体がそうした道に活路を見出すとすれば、一般的にどういったことを考え、実践していくことが求められているの

か。国の政策立案の経験もある安東副市長にその所見を伺いたい。

**答**

地方創生の動きとあわせ、6月17日開催サイエンスカフェin鳥栖での合同活動などを足掛かりに、今後も国(産総研九州センター)、県(九州シンクロトロン光研究センター)、民間(サガハイマツ)が運営する各施設と市との連携を深めながら、最先端科学技術施設の集積を地域の「強み」の創出につなげ、つくば市の取り組みなどを参考にしながらも、つくば市とはまたひと味違う、鳥栖市独自のまちづくりに活かしていくことが必要と考える。

しきれていないことではないか。例えば、●企業誘致の受け皿としての土地が不足して更なる発展のチャンスを逃していること●プレミアム・アウトレットやサガン鳥栖のホームゲームでの集客を地元の経済効果に十分につなげられていないこと、などがあり、この効果を最大限に発揮するための「仕組みづくり」について知恵を出すこと。本市の一番の強みである拠点機能及びハード資源と、ソフト面での取組をうまく融合させた戦略的な攻めの政策を職員とともに考えながら、本市の魅力を高める努力を重ねて参ります。



①子育て支援  
②野球場整備  
樋口伸一郎(自民クラブ)

問

①保育の量の拡充、世帯状況に  
応じた保育料負担軽減措置の拡  
大等、本市における今後の具体的  
取り組みが見えてきた中、最大の課  
題ともいえる今後の保育士不足に  
対しどのような対策をとられるのか。

答

国、県の責務となる、「保育  
士確保プラン」における、保育  
士の資格取得や就職準備にかかる費  
用助成等の取り組みについて、制度  
の周知を図ってまいりたい。



医療費助成の現物  
給付化について  
尼寺省悟(日本共産党議員団)

問

本年2月県議会で、子どもの  
医療費助成について、「各市町  
が費用を負担すれば、各市町の選  
制により、現物給付方式を拡大でき  
る枠組みをつくる。平成29年4月実  
施にむけて市町や医師会と調整して  
いる」との答弁があつている。

現在の助成のしくみは、医療機関  
の窓口で一旦医療費を全額払い、後  
で申請して払い戻しを受けられる方

問

②儀徳町グラウンドの、大人の  
野球の使用禁止により、減少し  
た市内の野球ができるグラウンド。  
市民ニーズにこたえるためにも、グラ  
ウンド整備の検討を要望する。

答

グラウンドを整備するに当た  
っては、安全面に配慮しながら  
十分な広さの土地を確保するなどの  
課題もございますが、今後も市民ニ  
ーズの把握に努めるとともに、現有  
施設の有効活用及び関係機関との連  
携を図ってまいりたい。

このほかの質問◆③事務経費削減を  
目的とした、行政事務のタブレット  
導入と有効活用について

答

「現物給付」化の要望が強い  
ことは、十分認識している。  
ただ新たな財源などが必要になる  
ので、情報収集に努め、慎重に対応  
していきたい。

このほかの質問◆鳥栖駅舎の保存/  
地震への対応について



小中学校トイレの  
改修・洋式化  
国松敏昭(公明党)

問

小中学校のトイレは、悪臭が  
して困っている。トイレが使い  
づらいなどの、問題が上がっている。  
早く、トイレを改修し、洋式化して  
ほしいとの多くの要望が出ている。  
現在の推進状況と今後の取組みにつ  
いて問う。

答

弥生が丘小学校を除く小中  
校で、洋式化率は現在平均37  
・7%です。来年度で工事が終わる  
田代中学校が洋式化100%にな



いじめへの  
対策について  
下田寛(新風クラブ)

問

小中学校でのいじめや不登校  
など、「住みづらさ」や「には」生  
きづらさ」までも感じている子供が  
増加傾向にある。この感情を払拭し  
なければならぬがその対策をどう  
考えているのか。

答

「いじめ・命を考える日」で  
のいじめを生まない土壌づくり  
や風土づくりを進めている。また、

る。現在、プール、屋外便所などの  
トイレを除くと77箇所のトイレがあ  
り、洋式化が終わっていない便器は  
360基です。田代中学校方式での  
工事で便器1基あたりの、改修費用  
は約55万円となり、全体で2億円と  
なる見込みです。

今後、学校施設大規模工事の時に  
対応して、改修まで時間がかかる場  
合は、避難所の整備の点からもトイ  
シの洋式化の検討が必要であると考  
えているため、優先的な整備に努め  
ていくように考えていきます。  
このほかの質問◆災害への備えにつ  
いて、特に本庁舎の耐震化

問

中学校卒業後のサポートは  
どのように行っているのか。

答

保護者から相談があつた場  
合に、担任や関係した教員が  
相談にのったり、相談機関を紹介す  
るなどの支援を行っている。

意見

それでもまだ対応が十分に  
ないケースがある。民間との  
連携をさらに強固にしたサポート体  
制を構築すべきである。



**給食センター被災  
対応について**  
久保山博幸(自民クラブ)

**問**

今回の熊本地震により、本市では震度4弱の揺れが発生したが幸いにも特に大きな被害は無かったと認識している。しかしながら完成して間もない学校給食センターの天井ボードの一部剥落により小学校給食の提供に支障をきたしてしまっただ。剥落の原因と今後の対応についてお尋ねする。

**答**

学校給食センター建設に際しては、食育推進の観点から調理

現場の見学や子ども達が学校給食センター内で喫食が出来るよう、施設的な配慮を施した結果、特定天井工法を採用した。その結果地震による横揺れに加え上下動が生じたため、吊り天井と廻縁が衝突或いは接触及び摩擦により天井ボードの周囲が一部破損又は剥落したものと考えられる。被害の検証については設計者、施工者及び市の三者で行い、国の基準に沿って設計・施工されており、責任の所在は明確にする事は困難であると考えている。改修にあたっては天井ボードの隙間も確保し、上下動の事象にも対応する工法とする。



**子宮頸がん  
ワクチンについて**  
柴藤泰輔(天桜会)

**問**

子宮頸がんワクチンは子宮頸がんなどの発病を予防しますが副反応の頻度がより明らかになり積極的勧奨を控えました。福岡県では被害者連絡会が発足しています。この現状と今後健康被害が起きた場合の対応をどうお考えなのかお尋ねしたい。

**答**

専門会議においては、積極的勧奨はしないとしながらも、接種の中止等の措置は必要ないとの見

解が出ており、国も接種は継続することとしており、本市は、今後も国の動向を見てまいりたいと考えています。副反応によって健康被害が生じた場合には、予防接種健康被害救済制度があり認定された場合は、医療費等の給付を受けることができます。保護者からご相談があった場合には速やかに県内の相談窓口等をご紹介する等の対応をいたします。  
**このほかの質問**◆安全・安心なまちづくり(学校内における安全対策、自転車通学の交通指導)／教科書検定について



**公共施設等の  
管理計画について**  
古賀和仁(自民クラブ)

**問**

鳥栖市公共施設等白書によると、多くの施設が築後三十年以上を経過し、老朽化が進んでいます。今後、この白書を基に、新設や改修を行い、状況に応じて施設機能を見直していく事になると思う。本市も将来の人口見通しと、中期財政計画をふまえて、公共施設等総合管理計画の策定が行われております。その計画策定の基本方針とスケジュール、又、市民への説明と民間活力の

**答**

導入についてお尋ねをします。公共施設等総合管理計画の素案を本年中に策定し、市民の意見を取り入れる為にパブリックコメントを行う。施設の必要性、有効性や市民ニーズを検討し、施設を効率的、効果的に運営していく。その手法として施設の統合、集約や用途変更、長寿命化を行う。施設更新時には、民間活力についても検討をする。現在、計画策定を全庁的に進める為に、策定委員会を設置、四月に個別施設計画策定の為に幹事会を設置し、市民の理解をいただく中で、計画を策定していきたい。



**市内道路の  
危険地帯について**  
藤田昌隆(新風クラブ)

**問**

危険地帯、交通安全上、防犯の上、防災上とあるが、その地帯の確認、対策は取られているのか？対策の一つとして電柱の地下埋設があるが、その費用、実施方法について。

**答**

パトロールを2人体制、梅雨対策として合同3班体制に拡充、電柱埋設には1km5億6千万円程かかり共同溝、上下水道管、ガス管の問題もあり、課題の整理が必要。

**問**

国家戦略特区について  
昨年12月の特区指定には残念ながら外れたが、国家戦略特区有識者議員より希望もてる発言をもち、本年も指定がなされるのか、また二市一町の首長の活動状況は。

**答**

本年も特区指定がなされ、平成28年〜29年が集中改革強化期間となり、二年間が特に活動として重要であり、二市一町(鳥栖市、小郡市、基山町)の首長が本年も共同活動を行っていきます。  
**このほかの質問**◆鳥栖市補助金団体について



### 学校給食センターの職員体制について 小石弘和(誠和クラブ)

**問** 給食センターで、事務職員の調理従事が度々あつている。感染症対策など調理員の勤務体制はどんな状況か。なお給食センター化で給食の供給体制は大きく変わったが、運営体制の方針は明らかでない。正職員の退職補充もなく、現場は不安なはずだ。すぐに運営方針の検討を始めるべき。

**答** 急な病休対応など緊急の場合、事務職員が調理に従事す

ることもある。感染症対策では本人や家族の罹病や疑いがある場合、医師の診断に従い休んでもらう。特にノロウイルスの場合、菌の保有がないと確認できるまで休んでもらう。運営体制は、現段階では、一部を除き直営の現体制を続ける予定で、正職員、嘱託・臨時職員の人数や勤務体制、勤務時間を検討していく。

**意見** 直営体制維持のため、しばらく採用がない正規職員も含め職員の人数、勤務体制、勤務時間を検討することで安心した。今後給食センターの運営体制をしっかりと注視していく。



### 市営住宅は今後どうするのか 成富牧男(日本共産党議員団)

**問** 市営住宅の老朽化が進んでいる。おおよそ快適な住環境とは言いがたい建物も少なくない。また風呂釜・浴槽は、いまだに入居者の自己負担で購入・設置しなければならぬ。平成20年度に524戸あった市営住宅は、現在497戸となり、さらに26戸の取り壊しが予定されている。佐賀市では住生活基本法に基づく佐賀市住宅マスタープランが策定され、老朽化した市営住宅の建て

替えが進んでいる。鳥栖市は市営住宅の今後についてどう考えているのか。確保すべき住宅戸数をどう考えるのか。鳥栖市でも法に基づく住生活基本計画を策定すべきでは。

**答** 県は現在、「佐賀県住生活基本計画」の見直しをしており、①計画素案について②公営住宅の供給目標量について、県内市町との協議を予定している。そこでは市営住宅だけでなく、本市の県営住宅も含めた公営住宅の必要戸数やあり方等についても議論されるものと考ええる。  
**このほかの質問**◆就学援助制度の拡充



### 災害対策・障がい者政策 飛松妙子(公明党)

**問** 熊本地震から本市の災害対策に繋げるには、どのように災害に強いまちづくりをしているかと考えているのか伺う。

**答** 様々な施設が避難所となり高齢者や障害者など、バリアフリーの大切さ、重要性も改めて認識◆今年度から小中学校の非構造部材の耐震設計の見直しと対策を行う◆福祉避難所は市内三つの高校で新たに利用◆道路の新設・改良等に努める



### 学校給食費の公会計化について 松隈清之(天桜会)

**問** 現在、学校給食費の徴収事務に関して各学校長がその責任を負う私費会計で運用されている。しかし、未納問題については過度の負担がかかっている。また悪質な未納者に対して法的措置を取ることが困難である。このような現状が未納問題の解決を困難にしている。場合によっては保護者から徴収責任を問われることすら想定される。このような現状を改善し、透明性や公平性を



### 障害者差別解消法施行を受け、本市の今後の取り組みを伺う

**問** 障害者差別解消法施行を受け、本市の今後の取り組みを伺う

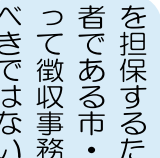
**答** ◆市民への周知啓発と市職員へ趣旨がいきわたるよう対応する◆教職員の理解を図り意識を変えることが必要。要望に対して話し合い、理解を得るよう努める◆特別支援学級への医療的ケアが必要な看護師の配置については調査・研究する◆デジタル教科書を保護者の皆様に知っていただく機会をつくる。

**要望** 視覚・聴覚障がい者への情報支援が不十分。市役所から取り組みを要望する。



### 学校給食費の公会計化について 松隈清之(天桜会)

**問** 現在、学校給食費の徴収事務に関して各学校長がその責任を負う私費会計で運用されている。しかし、未納問題については過度の負担がかかっている。また悪質な未納者に対して法的措置を取ることが困難である。このような現状が未納問題の解決を困難にしている。場合によっては保護者から徴収責任を問われることすら想定される。このような現状を改善し、透明性や公平性を



### このほかの質問◆オープンデータの取り組みについて

**答** 今後、徴収方法や未納問題指摘を受けた問題点を含め課題整理をして、どのような体制にすべきかを市教育委員会としても考えていく。

**このほかの質問**◆オープンデータの取り組みについて

**答** 本年度中に検討を行うための体制づくりと提供可能なデータ等の調査を進める。

# 第3回鳥栖市議会 議会報告会を開催



4月22日金曜日、弥生が丘まちづくり推進センターで「第3回鳥栖市議会 議会報告会（第一部報告会、第二部広聴会）」を開催し、44名の方に参加いただきました。



各常任委員長が当初予算の中からトピックスの説明をしました



住みたくなるまち  
「弥生が丘」の将来像  
西依義規（新風クラブ）

**問** 弥生が丘地区の本山川防災調整池の湿地帯の改善対策を講ずるべきでは。

**答** 当該地は、大雨時の防災機能を有した調整池であり、河川の位置づけです。調整池の活用については、今後も、県と協議を行っていきます。

**問** 弥生が丘地区への交番設置の要望と袖比インター付近の渋滞改善に対する市の見解は。

**答**

弥生が丘地区への交番設置は、新設ですので、早期の実現は難しいと聞いていますが、今後も鳥栖警察署に対して、地元の意向を伝えていきます。また、袖比インター付近の渋滞は、地域住民の日常生活にも影響を及ぼしているとの認識ですので、今後とも渋滞改善に向けた要望を県に伝えていきます。このほかの質問◆治安維持と交通安全（防犯カメラ設置補助・ヘルメット購入補助）／休日の校庭開放（安全な遊び場）／道路公園の除草計画／会田地区地区計画／地区計画の拡大（今町・袖比町）

## 当初予算の中からトピックスを説明

第一部の報告会では、各常任委員長より当初予算の中から、「総務文教常任委員会」「鳥栖駅周辺整備、田代中学校教室増築」「建設経済常任委員会」「新産業集積エリア、長期未着手の都市計画道路」「厚生常任委員会」「保育園施設整備、がん検診」をトピックスとして報告しました。その後の質疑応答では、鳥栖市役所本庁舎の耐震、鳥栖駅の東西

## 市民と議員との「コミュニケーション」

第二部の広聴会では、議員が9テーブルに分かれ、特定のテーマを決めず、フリーで市民の皆様の声を聞く形で進行する意見交換（座談）を行いました。アンケート結果では、「広聴会が良かった」と答えられた方は65%と、ある一定の評価は頂きました。内容については、「時間が足りない」「各テーブルが近すぎて、ザワザワで座談会がしにくい」



「議員と市民と議論したい」「要望の場となっていて、未来を語る場にはなっていないかった」「第一部では話せなかった内容についても更に話す事が出来た」「自分の意見を言えたことは良かった」「ディスカッションの場があったのは良かった」などの意見がありました。

運営面としては、第一部の質疑応答の時間が予定より長くなり、全体で1時間30分の時間の中で、広聴会の時間が30分弱の開催時間となってしまうこともあり、時間配分等の課題が残る結果となりました。

### 「市民との対話」 議会基本条例を实践

鳥栖市議会には、鳥栖市議会基本条例（平成25年3月1日施行）があり、前文には、「議会は、市民との対話を行い、その声を汲み取りながら、市民に身近な信頼される議会を目指しつつ、議会の権限を発揮し、その責務を果たしていくことで、本市における民主主義の発展と市民福祉の向上を図らなければならない。」とあります。今後、この条例に定めた理念・目的をもとに、市民参加の取り組みを実践してまいります。



第二部の広聴会で市民の皆さんのお話を聴く議員

### 二元代表制としての 市議会の役割

今回の議会報告会は「市議会だより編集委員会」が企画・運営などを担当しました。鳥栖市議会として、広報と広聴を担当する機関としての位置付けがなく、開催要項もなかったこともあり、準備段階で課題は残りましたが、参加された市民の皆様から、「今後定期的に実施していただきたい」「今後も出前広聴会を続けてほしい」「他地区でやってほしい」など開催を望む声も多くあり、一定の評価を頂いたのではないかと感じて

います。

ただ、議会報告会の開催にあたっては、何よりも二元代表制としての市議会の役割についての理解が不可欠であり、市議会の権能や権限、市長と議会の関係について説明し、理解を深めていただくことが重要だと感じました。

今後は、議会報告会を、広報と広聴の両面を合わせ持つ場と位置付け、市民の皆様への情報公開や説明責任を果たす場、議会の政策形成につながる意見交換の場にするために、内容を精査し、次回開催につなげてまいります。

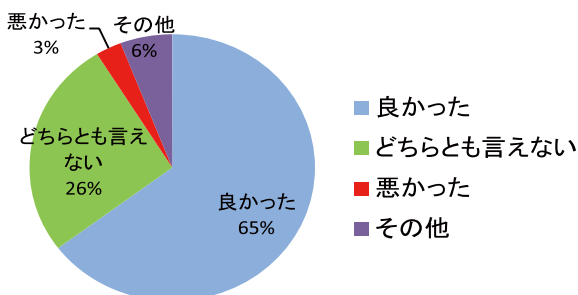
お近くで開催の際は、ぜひご参加ください。



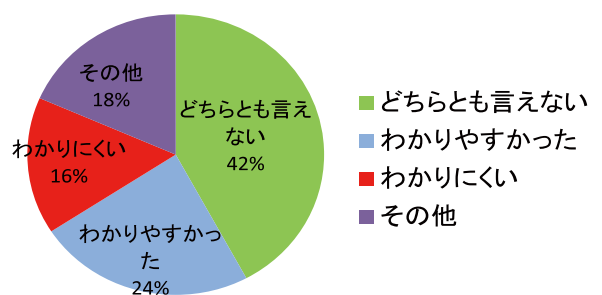
議会報告会后、運営側より総括  
今後も鳥栖市議会の活動にご期待ください

## 第3回議会報告会 アンケート結果

### ②議会広聴会はいかがでしたか



### ①議会報告会はいかがでしたか



# 先進地視察報告

(議会運営委員会・市議会だより編集委員会)

議会運営委員会は5月17日から19日に議会改革についての先進地視察、市議会だより編集委員会は5月9日から10日に議会報告会についての先進地視察をそれぞれ行いました。

## 議会運営委員会 先進地視察

議会改革について(多摩市議会、所沢市議会)と、タブレット端末導入と活用について(飯能市議会、逗子市議会)で先進地を視察しました。

◆タブレット端末導入と活用について

【目的】ペーパーレス化、経費節減  
【現状】鳥栖市議会では、議会のICT化で議会活動を検討するうえで、今後の議会活動を検討するうえで、先進事例を視察、実際にタブレットでの操作等を学んだ。

【視察】逗子市議会では、議員1人につき1,000枚以上の膨大な資料削減。コピー代・職員労務費を削減。資料の差し替えによる労務負担の減少。モノクロから、カラーで、分かりやすい資料。

タブレット端末の機能・操作を覚えるためには、推進する協議会をまず立ち上げた。

視察以後、鳥栖市議会、タブレット端末導入の調査・研究をするメンバーを選出。6月より、中心メンバーによるICT化推進協議会(仮)を立ち上げた。

## 市議会だより編集委員会 先進地視察

市議会だより編集委員会は、市議会の情報発信や、市民の皆さんからの意見を広聴することを目的に、議会報告会について先進的な取り組みを行っていらっしゃる岡山県高梁市議会、山口県防府市議会に先進地視察を行いました。

◆岡山県高梁市議会

年2回、全議員を4班のグループに分け、具体的なテーマ、例えば「高梁市といえば〇〇である」などを設けて議会報告会を行っていらっしゃる。

市民ができるだけ話しやすい議会報告会といった点は、大変参考となるものでした。



ペーパーレス化と経費削減のためにタブレットを活用している飯能市議会



市民ができるだけ話しやすいように意見交換の時間に身近なテーマを設けている高梁市議会

◆山口県防府市議会

全議員を4班に分け複数会場を担当し、市内全ての地区で、日程調整のうえ議会報告会を行っていらっしゃる。

全ての市民が参加しやすい議会報告会といった点は、大変参考となるものでした。



市民が参加しやすいように市内全ての地区で報告会を開催している防府市議会

この視察で学んだことを、今後の市議会だより編集委員会の中で、しっかりと協議、検討しながら取り組んでまいります。

# 6月定例会の付議事件と議決結果

## ◆全会一致（全員賛成）で可決されたもの

		件名	議決結果	
市長提出	市	平成28年度一般会計補正予算	原案可決	
		平成28年度国民健康保険特別会計補正予算		
	長	専決処分事項の承認 [ 国民健康保険特別会計補正予算 ]	承認	
		専決処分事項の承認（市税条例等の一部改正） [ 地方税法の一部改正等に伴い、専決処分したもの ]		
	提	出	工事請負契約の締結 [ 田代中学校普通教室棟大規模改造工事（建築工事）の請負契約を締結するもの ]	原案可決
			工事請負契約の締結 [ 田代中学校普通教室棟増築工事（建築工事）の請負契約を締結するもの ]	
議員提出		固定資産評価員の選任 [ 青木博美氏（みやき町） ]	同意	
	議	教職員定数の改善と義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書（案）	原案可決	
		国道3号及び国道34号の整備促進に関する決議（案）		
		市庁舎に関する意見書（案）		
その他		議員派遣の件 [ 佐賀県市議会議長会議員研修会 ]	決定	

## ◆賛否が分かれたもの

件名	議員名														議決結果						
	西依義規	伊藤克也	下田寛	飛松妙子	樋口伸一郎	柴藤泰輔	江副康成	久保山博幸	中川原豊志	久保山日出男	内川隆則	藤田昌隆	国松敏昭	尼寺省悟		成富牧男	小石弘和	松隈清之	古賀和仁	齊藤正治	森山林
市長提出 専決処分事項の承認 (国民健康保険条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	●	○	○	○	○	○	承認
議員提出	食品ロス削減に向けての取り組みを進める意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	待機児童解消に向けて緊急的な対応を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	●	○	○	○	○	○	
	所得税法第56条の廃止を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	

○=賛成 ●=反対 ※議長（中村直人）は表決には参加しません

# 議会日誌

## 4月

- 4日 建設経済常任委員会
- 5日 厚生常任委員会
- 11日 市議会だより編集委員会
- 19日 会派代表者会
- 21日 佐賀県市議会議長会
- 22日 第3回議会報告会
- 27日～28日 九州市議会議長会定期総会（長崎市）

## 5月

- 6日 会派代表者会
- 9日～10日 市議会だより編集委員会先進地視察（高梁市、防府市）
- 17日～19日 議会運営委員会先進地視察（多摩市、飯能市、所沢市、逗子市）
- 20日 厚生常任委員会
- 23日 建設経済常任委員会
- 27日 会派代表者会
- 30日 議会運営委員会
- 30日～31日 全国市議会議長会定期総会（東京都）

## 6月

- 1日 市議会議員共済会代議員会（東京都）
- 6日～22日 **6月定例会**
- 6日 議会運営委員会先進地視察報告会  
市議会だより編集委員会
- 21日 市議会だより編集委員会
- 23日 鳥栖市・小郡市・基山町議会議員合同研修会
- 30日 市議会だより編集委員会

### ■他市議会からの視察来庁【4月～6月】

小矢部市（富山県） 平戸市（長崎県）  
かほく市（石川県）  
以上3市議会 [来庁者合計23名]

# 意見書

- 食品ロス削減に向けての取り組みを進める意見書  
提出：自民、天桜、公明、誠和
- 待機児童解消に向けて緊急的な対応を求める意見書  
提出：自民、天桜、公明、誠和
- 教職員定数の改善と義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書  
提出：社民、共産
- 所得税法第56条の廃止を求める意見書  
提出：社民、共産

※上記の意見書は、国会及び関係行政庁に送付しました

# 陳情

### ■宇宙船地球号を守る為の提議・地球社会建設決議提議書

荒木 實

### ■被爆71周年原水禁運動への協力要請 原水爆禁止佐賀県協議会

会長 徳光 清孝

# 表彰

### ■全国市議会議長会表彰

議員在職10年以上 齊藤正治 議員  
古賀和仁 議員

**次回定例会は  
9月上旬からの予定です。  
ぜひ傍聴にお越しください。  
ご意見はこちらまで。**

電話 0942-85-3525  
メール gikai@city.tosu.lg.jp

## 編集後記

政治とカネが常に言われる中、昔と比べ、さほど公職選挙法は変わっていないが、昔ほどお金はいらなくなったのは事実。しかし、議員報酬は30年近く上がっていない、むしろ下がっている。更には議員年金が廃止された。議員は日常生活の中でありとあらゆる所に出向いている。それに伴う出費は覚悟しなければいけない。世間の厳しい目を受け止めながらも、若者が立候補しやすい環境も必要では（内川隆則）